

Ⅲ 体力を高め、健康な体をはぐくむ

(6) 体力向上の推進

19 体力づくりの推進

○子どもたちの体力・運動能力の実態を踏まえ、運動の楽しさを味わわせることのできる授業や運動部活動を展開し、子どもたちの主体的な基礎体力づくりを支援します。

○子どもたちの体が動かしやす場や機会を確保する観点から、地域における身近な遊び場の整備を図ります。

達成指標	県運動能力証の合格率 (上段:小学生、下段:中学生)	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		26.2%	25.4%	26.5%	27.5%	B-
		24.7%	23.6%	25.0%	27.0%	B-
達成指標	新体力テストにおいて、各学年・種目で全国平均を上回る割合	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		94.4%	90.3%	95.0%	100%	C
達成指標	行政区に対する総合型地域スポーツクラブの設立数の割合	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		100%	100%	事業完了	100%	A

(計画No.) アクションプラン名 【所管課】

対象	内 容	予算(単位:千円)		23年度の評価及び24年度の実施計画	評価
		23年度	24年度		
(64)新体力テスト、県運動能力証、市運動能力検定の実施【保健体育課】					
児童生徒	新体力テスト、県運動能力証、市運動能力検定(小学校のみ)を行うことにより、子どもの体力について考察し、体育指導の充実を図る。	99	99	[23年度の評価] 5月に体育・保健体育主任会で各学校の実情に応じた体力づくり活動の計画等について説明を行い、7月に市運動能力検定、県運動能力証の目標値設定、報告した。24年2月に学校体育経営推進研修会で、新体力テスト結果考察及び学校ごとの目標達成度について評価を行った。 新体力テスト実施時期:小学校 9~11月 中学校 4~5月 評価:長座体前屈・立ち幅とびは良好な結果が見られたが、握力・ソフトボール投げに課題が見られる。また、市運動能力検定・県運動能力証に向け、児童生徒一人一人に目標を持たせて取り組んでいるが、測定の機会を十分確保することが課題である。 [24年度の実施計画] 同様のスケジュールで事業を実施予定である。	b
(65)地域連携の強化による子どもの体力向上【保健体育課】					
事業を、「(69)地域スポーツ人材の活用実践への支援」に統合したため、アクションプランとしては削除					
(66)小学校各種体育大会の開催【保健体育課】					
児童	児童が大会・発表会に参加することにより、運動をすることの楽しさや、友達と一緒にスポーツする喜びを味わわせ、体力づくりの日常化を図る。	4,206	3,745	[23年度の評価] 下記の日程で実施し、児童が各種体育大会に参加することを通じて、運動することの楽しさ、友人と一緒にスポーツをする喜びを味わわせることを通じ、児童の体力向上を図った。 5月:各種体育大会代表者会議で趣旨の徹底を図った。表現運動発表会、球技大会について、ブロックごとに実施の詳細を話し合った。 6月:表現運動発表会を開催した。 11月:陸上大会を開催した。 1月:球技大会を開催した。 [24年度の実施計画] 引き続き、ほぼ同様の日程で開催予定である。	b
(67)中学校体育大会の開催【保健体育課】					
中学生	生徒が各種大会に参加することにより、生涯にわたってスポーツを実践する能力を高め、体力の向上を図る。	9,125	8,592	[23年度の評価] 下記の日程で実施し、生徒が各種大会に参加することを通じて、生涯にわたってスポーツを実践する能力を高め、体力の向上を図った。 5月:総体代表者会議で趣旨の徹底を図った。 6月:総体顧問会議で種目ごとの細則を決定した。 7月:市中学校総合体育大会を開催した。 9月:駅伝の部を開催した。 10月:ダンスの部を開催した。 [24年度の実施計画] 引き続き、ほぼ同様の日程で開催予定である。	b

(計画No.) アクションプラン名 【所管課】					
対象	内 容	予算(単位:千円)		23年度の評価及び24年度の実施計画	評価
		23年度	24年度		
(68)中学校運動部活動指導者の派遣【保健体育課】<計画(89)に再掲>					
中学生	学校で必要とする民間指導者を派遣することにより、中学校の運動部活動において、専門的な指導を十分に受けることができる体制整備を図る。	2,976	2,511	<p>[23年度の評価]</p> <p>中学校の運動部活動において、専門的な指導を十分に受けることができるように、学校で必要とする民間指導者を派遣した。</p> <p>4～5月:希望調査、指導者の推薦・決定。 5月～ :派遣開始35校、60人、15種目(バドミントン・ソフトテニス・野球等)に派遣。アクションプラン(65)と統合。</p> <p>[24年度の実施計画]</p> <p>中学校の運動部活動において、専門的な指導を十分に受けることができるように、学校で必要とする民間指導者を派遣する。</p> <p>4～5月:希望調査、指導者の推薦・決定。</p>	b
(69)地域スポーツ人材の活用実践への支援【保健体育課】<計画(90)に再掲>					
小学校 高学年	体育学習や中学校の運動部活動において、指導の補助ができる地域人材の派遣を行うことにより、運動の楽しさをより深め、体力づくりに積極的に取り組んで行けるような環境整備を図る。	4,090	2,190	<p>[23年度の評価]</p> <p>子どもたちが運動の楽しさをより深め、体力づくりに積極的に取り組んでいけるよう、小・中学校の体育・保健体育の学習や運動部活動において、指導の補助ができる地域人材の派遣を行った。</p> <p>小学校:19人(体育学習、陸上・サッカー・バスケットボール) 中学校:36人(サッカー・バドミントン・野球等14種目)</p> <p>[24年度の実施計画]</p> <p>引き続き6月に希望調査、指導者の推薦・決定をし、7月から派遣開始予定で、同種の事業を実施予定である。</p>	b
(70)学校体育施設等の活用推進【スポーツ振興課】<計画(85)に再掲>					
子ども	小学校の校庭の開放や、学校体育施設、運動広場の活用により、子どもたちの遊び場の確保を図る。	22,579	25,725	<p>[23年度の評価]</p> <p>小学校117校の校庭、体育館の開放(対象:登録団体)及び自由開放(対象:市民)、中学校55校の校庭、体育館、中学校武道場11施設の開放及び運動広場(20ヶ所)の開放を実施した。</p> <p>[24年度の実施計画]</p> <p>中学校の校庭、体育館開放が新たに1校増える予定である。(なお、学校統合により学校数は減るため、校庭等を開放している学校数は減る見込みである。)</p>	b
(70)子どもたちの森公園の管理運営【緑政課】<計画(86)に再掲>					
子ども	「子どもたちの森公園」の管理運営により、プレーリーダーや地域の人々の支援の下、子どもたちが自分の責任で様々な遊びを展開できるような環境整備を図る。	5,768	5,691	<p>[23年度の評価]</p> <p>プレーリーダーを2名/日配置、256日開園し、季節のイベントを3回実施した。その結果、13,256人(H24.3末時点)の来園者があった。また、子どもの遊び場として広く普及させるため会報(はつぱだより)やホームページ等により広報を実施した。</p> <p>[24年度の実施計画]</p> <p>引き続き、本事業を実施する予定である。</p>	b
(70)都市公園の整備【公園建設課】					
子ども	街区公園や近隣公園、地区公園を整備することにより、子どもたちの遊び場の確保を図る。	10,626	25,845	<p>[23年度の評価]</p> <p>街区公園1か所の用地取得を実施した。</p> <p>[24年度の実施計画]</p> <p>街区公園1か所の施設整備を実施予定である。</p>	b
(71)総合型地域スポーツクラブの設立支援【スポーツ振興課】					
市民	「総合型地域スポーツクラブ」を、各区に設立することにより、子どもから高齢者まで、年齢や性別に関係なく個々のライフスタイルに応じたスポーツ活動を楽しむことができる環境整備を図る。	0	0	<p>[23年度の評価]</p> <p>各区に1つの総合型地域スポーツクラブが設立され、目標は達成された。<<事業の完了>></p>	

(7) 健やかな体

20 健康教育の推進

子どもたちの健康増進を図るため、子どもたちが健康の大切さを認識し、自ら健康な身体づくりに取り組めるよう、健康教育を推進します。

達成指標	12歳(中学1年生)のDMF指数(永久歯の一人あたりの平均虫歯指数)	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		1.11	1.19	1.10	1.00	B-

(計画No.) アクションプラン名 【所管課】

対象	内 容	予算(単位:千円)		23年度の評価及び24年度の実施計画	評価
		23年度	24年度		

(72)地域の専門医との連携による子どもの健康づくり【保健体育課】

児童生徒	専門医を派遣し、保護者や児童生徒、教職員等に対する望ましい生活習慣への対応と予防・啓発、個別の保健相談等を行うことにより、子どもの健康づくりの推進を図る。	0	0	<p>[23年度の評価]</p> <p>専門医を派遣し、主に次のような、児童生徒への指導・啓発事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ障害講座 小3校 中2校 ・歯医者さんの喫煙防止教室 中3校 ・正しい薬の使い方教室 中2校 <p>[24年度の実施計画]</p> <p>引き続き、同様の事業を行い、子どもの健康づくりを推進する予定である。</p>	b
------	---	---	---	--	---

(73)歯と口の健康づくりの推進【保健体育課】

児童生徒	歯科衛生士による口腔衛生指導、歯科医師会による歯と口の健康づくり啓発、歯と口の健康づくり研究推進校の指定、学校歯科保健活動推進校の表彰等により、子どもたちが自分の口腔内に関心を持ち、生涯を通して歯と口の健康づくりを実践していく基礎づくりを図る。	6,253	6,253	<p>[23年度の評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> ①口腔衛生指導 小112校 中54校 特2校 計168校 ②歯と口の健康づくり啓発事業 3中学校区 中3校 小5校 計8校 ③学校歯科保健活動推進校学校賞と健歯児童生徒奨励賞の表彰や口腔保健図画・ポスター・8020 運動普及標語などの表彰を実施した。 <p>[24年度の実施計画]</p> <p>引き続き、同様の事業を行い、子どもの歯と口の健康づくりを推進する予定である。</p>	b
------	--	-------	-------	---	---

21 食育の推進
 子どもたちが日常生活における食事について正しい理解を深め、望ましい食習慣を身に付け、健全な食生活を営むことができるよう、食に関する指導を推進します。

達成指標	朝食を必ず食べる児童生徒の割合 (Ⅳ-(8)に再掲)	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		90.7%	90.5%	90.7%	92%	B+

(計画No.) アクションプラン名 【所管課】						
対象	内 容	予算(単位:千円)		23年度の評価及び24年度の実施計画	評価	
		23年度	24年度			
(74)学校給食の充実【保健体育課】						
児童生徒	学校給食の実施により、実際の食事という生きた教材を通して、正しい食事のあり方や望ましい食習慣の形成、地産地消の推進を図る。	1,329,967	1,353,102	[23年度の評価] 給食の時間や各教科等で学校給食を教材として活用した食育を実施した。 [24年度の実施計画] 食に関する指導の全体計画を見直し、学校給食を教材とした食育を計画的・継続的・体系的に実践することにより、食事に対する正しい理解を深め、望ましい食習慣を身に付け、健全な食生活を営むことができるようにする。	b	
(75)子どもの健康をはぐくむ総合食育の推進【保健体育課】						
児童生徒	家庭・地域への啓発、食育啓発資料の作成など、学校・家庭・地域が連携しつつ、食育を推進することにより、子どもたちの望ましい食習慣の確立を図る。	0	0	[23年度の評価] 各小学校・特別支援学校及び学校給食センターにおいて、献立表や給食だよりを活用して食育に関わる情報提供を実施した。 [24年度の実施計画] 引き続き情報提供に努めると共に、学校行事等で食育に関わる内容を扱うことにより、家庭での食育への関心を高める。	b	